

風水害の備え

台風や豪雨は、正確な気象情報を収集し、予想される事態への対策をとることで、被害を最小限にとどめることができます。事前に準備しておきましょう。

日ごろの備え

1 被害想定・対処方法を確認する

- ☐ 浸水被害が想定される場所を確認する。 **20ページ**
- ☐ マイタイムラインを作成する。 **23ページ**
- ☐ 最寄りの災害時避難所の場所を確認する。

2 非常持ち出し品・備蓄品を確認する

- ☐ 在宅避難を見据えて、停電、断水などライフラインの停止に備える。
- ☐ 避難指示が出たときにすぐに動けるよう、非常持ち出し品を準備する。 **8ページ**

3 家の周りを保全する

※風雨が強まってから屋根などを補強するのは非常に危険です。
絶対にやめましょう。

屋根

- ☐ 瓦・トタンのひび割れ、はがれ等を補修する。
- ☐ アンテナをしっかりと固定する。

外壁・壁

- ☐ ひび割れ、破損、ぐらつきがないか確認する。

雨どい・側溝や排水溝

- ☐ 砂や落ち葉で詰まっていないか確認し、掃除する。
- ☐ 浸水の恐れがある場合は、土のうなどの準備をする。

土のうの貸し出し(平日 9:00～17:00)
建設局 田島管路管理センター
☎06-6751-5048

台風の接近や集中豪雨が起こったときには

台風や集中豪雨など風水害が発生する恐れがあるとき、自治体や気象庁等から発表される防災情報は5段階の警戒レベルとともに提供されます。

自宅から避難する場合は、警戒レベル4の「避難指示」や警戒レベル3の「高齢者等避難」が発令されたときには早めの行動を心がけ浸水しない安全な場所に避難しましょう。

避難情報と警戒レベル	
警戒レベル	新たな避難情報等
5 災害発生又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保
一警戒レベル4までに必ず避難！一	
4 災害のおそれ高い	ひなんしじ 避難指示
3 災害のおそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難
2 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1 今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

【出典】内閣府

マイタイムラインを作ろう

「マイタイムライン」は、大雨や台風などの風水害に備えて、自らの家族や生活の状況にあわせて、自分自身が取る避難行動、つまり「自分の逃げ方」をあらかじめ考えておいて防災行動計画として用意しておくものです。

「いつ」「誰が」「何をするのか」をスケジュールにまとめておくことで、いざというときに慌てずに行動することができます。

Step1

浸水などのリスクを確認

- 住んでいる場所が、災害が発生したときに、浸水などの被害が及ぶかハザードマップなどで確認する。
- 浸水リスクを知って、基本的な逃げ方を考える。



Step2

避難のタイミングと避難先を確認

- 「夜だったら?」「学校・職場にいるときだったら?」など、異なる状況により、複数の逃げ方(逃げ先)を考える。
- 「台風の予報がでたら」「大雨・洪水警報がでたら」など、自治体や気象庁等が出す警戒レベルも合わせて、「いつ」「何をする」を考える。

Step3

マイタイムラインに記入する

- 確認したことを次のページの各欄に記入して、マイタイムラインを作成する。

Step4

作成したマイタイムラインを活用する

- 作成したマイタイムラインは手に取って確認しやすい場所に保管する。
- マイタイムラインに記入した状況などになれば、ためらわずに記入したとおりに行動する。

わが家の避難計画 大雨で河川氾濫が起きそうなとき

記載例などは
こちら



1 避難先

避難先を確認してメモしておきましょう。
状況に応じた避難先として、避難先1～3のすべてを確認しましょう。

原則

早めの避難先

■ 自宅・親戚宅・知人宅・職場など
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■ 最寄りの避難所
(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先1

避難先2

逃げ遅れたら・・・

その場そのときで命を守る場所へ

■ 最寄りの水害時(津波)避難ビル
(最寄りの浸水しない安全な場所)

■ 高い建物や高い場所(最寄りの浸水しない安全な場所)

避難先3

2

避難を開始するまでに
何をするかを考えましょう。

やること

情報収集

☐ 気象情報・避難情報を確認

避難の準備

- ☐ 非常持ち出し品・備蓄品を確認
- ☐ 必要なものの買い出し
- ☐ 家財等の2階等への移動開始
- ☐ 家の周りの点検
- ☐ 飛ばされそうなものの片付け
- ☐ 窓の施錠の確認
- ☐ 携帯電話の充電
- ☐ 避難所の開設状況の確認

連絡・声かけ

- ☐ 近所への声かけ
☐ 避難の声かけをする ☐ 一緒に避難する
名前
連絡先
- ☐ 避難の声かけをする ☐ 一緒に避難する
名前
連絡先
- ☐ 家族と連絡を取り合う
(離れている場合)
- ☐ 避難の支援者に連絡
(自力では避難が困難な場合)

その他

- ☐
- ☐

3

いつ避難を開始するかいつ何をするかを記入しましょう。

- ▶ [2] で確認した行動を参考にタイミングを確認しましょう。
- ▶ 避難のタイミングを書き込みましょう。

わが家の避難計画



記入欄 「いつ避難する?」「いつ何をするか?」

例) 非常持ち出し袋を再確認しておく[お母さん]

例) 避難場所を再確認しておく[みんな]

例) おばあちゃんとお母さんが親戚の家に車で避難する
この段階での避難先の目安
避難先 1、2

例) ○○小学校へ避難する[お父さんとこどもたち]
この段階での避難先の目安
避難先 1、2

この段階での避難先の目安
避難先 3

※災害状況の進展により必ずしもこの順番で情報がでるとは限りません。
状況に応じた柔軟な対応が重要です。

避難完了後

避難後には、家族や大切な人に無事避難したことを伝えましょう

連絡方法

家族の集合場所

避難情報が解除されるまでは、避難先からの外出や移動は極めて危険です。